

株主通信

第116期 事業報告

2025年4月1日から2026年3月31日まで



会社の概況 (2026年3月31日現在)

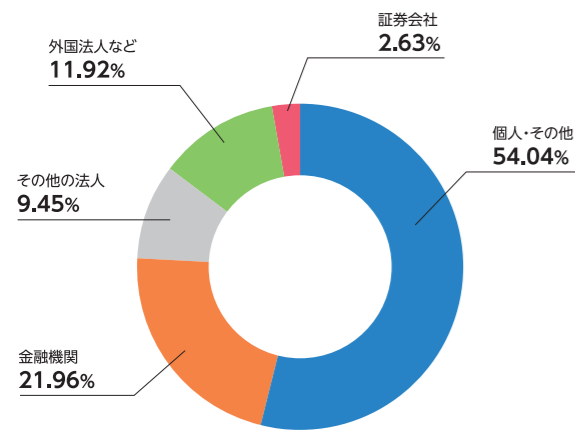
商号 株式会社北川鉄工所 (英文名: Kitagawa Corporation)
本店所在地 広島県府中市元町77-1
設立 1941年11月28日
資本金 86億4千万円
従業員数 2,221人 (単体: 1,412人)
事業内容 工作機器事業、産業機械事業、金属素形材事業、半導体関連事業

役員 (2026年6月26日現在)

代表取締役 会長	北川 祐治
代表取締役 副会長	北川 宏
代表取締役 社長執行役員	岡野 帝男
社外取締役	西川三佐子
社外取締役	杉口 安弘
社外取締役 (常勤監査等委員)	野上 武志
社外取締役 (監査等委員)	貝原 潤司
社外取締役 (監査等委員)	平 浩介

株式の所有者別状況

発行可能株式総数 普通株式 30,800,000株
発行済株式の総数 普通株式 9,650,803株
株主総数 10,283名
株式の所有者別状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	815	8.81
北川鉄工所みのり会	748	8.09
INTERACTIVE BROKERS LLC (常任代理人インタラクティブ・ブローカーズ証券株式会社)	483	5.23
株式会社広島銀行	446	4.82
みずほ信託銀行株式会社	230	2.49
北川鉄工所自社株投資会	229	2.48
秋元 利規	200	2.16
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	176	1.90
朝日生命保険相互会社	171	1.85
北川 祐治	143	1.55

(注)1 当社は自己株式(399,282株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2 持株比率は自己株式(399,282株)を控除して計算しております。
3 北川祐治氏持株数には、役員持株会を通じての保有分(1株未満切捨て)を含めております。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、米国の通商政策や中国経済の減速、イスラエル・パレスチナ間の紛争に加え、2月には米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃が行われるなど中東における地政学的リスクが一段と高まり、先行き不透明な状況が続きました。これに伴う原油価格の上昇や物流網への影響は、世界的なエネルギー価格の押し上げ要因となり、世界経済の停滞を招き得る新たなリスクとして顕在化しました。国内経済におきましても雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の底堅さや、旺盛なインバウンド需要に支えられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、深刻な人手不足に伴う人件費の上昇や物価の高止まり、金利上昇など不確実性の高い状況が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループの売上高につきましては、金属素形材事業においてメキシコ子会社で自動車部品の受注量が減少し減収となったものの、工作機器事業では海外市場での売上が増加したほか、産業機械事業においてコンクリートプラント事業のメンテナンス工事が好調に推移し、荷役機械事業でも大型クライミングクレーンおよびマストの売上が増加したことから、前期比で増収となりました。

営業利益につきましても、産業機械事業のコンクリートプラント事業におけるメンテナンス工事の売上増加、金属素形材事業におけるコスト低減活動や販売価格改定などにより前期比で増益となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、当社および子会社において有形固定資産の売却に伴う特別利益を計上したため、前期比で大きく増加しました。

当期末の配当金につきましては、1株当たり67円とさせていただきます。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長執行役員

岡野帝男

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日

配当金受領株主確定日 中間配当 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人および特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (通話料無料)
※土・日・祝日を除く9:00~17:00
電子提供制度専用ダイヤル
0120-524-324 (通話料無料)
※土・日・祝日を除く9:00~17:00

公告方法 当社ホームページにて電子公告しますが、やむをえない事由によって電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。

住所・氏名の変更、配当金の受領方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増請求等の手続きのご案内

株主様が口座を開設されている証券会社にお申出ください。なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社(左記のお問合せ先)にお申出ください。みずほ信託銀行国内本支店(トラストラウンジを除く)においてもお取扱いいたします。

未払配当金の支払いに関するお問合せ先

みずほ信託銀行国内本支店にてお支払いいたします。また、みずほ銀行国内本支店にてお取次ぎのみ可能です。

株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)に関するお問合せ先

お取引の証券会社またはみずほ信託銀行(左記の電子提供制度専用ダイヤル)までお問合せください。

特別口座をご利用の株主様へ

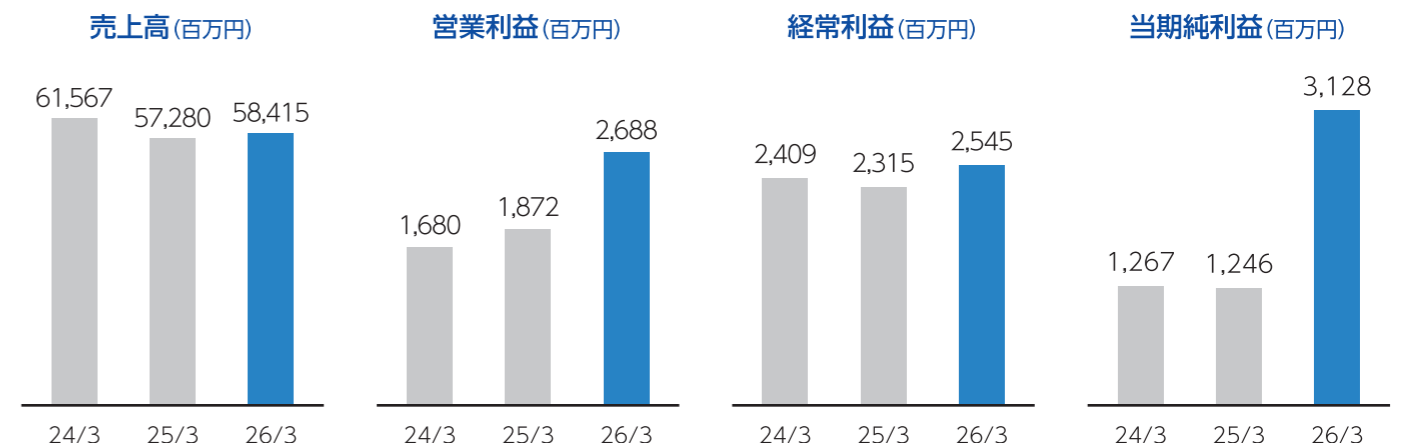
特別口座に記録されている株式は、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買ができません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。お手続きについては、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行(左記のお問合せ先)にお問合せください。

インターネット上で、いつでも最新のkitagawa情報をご覧いただけます

[https:// www.kiw.co.jp /](https://www.kiw.co.jp/)



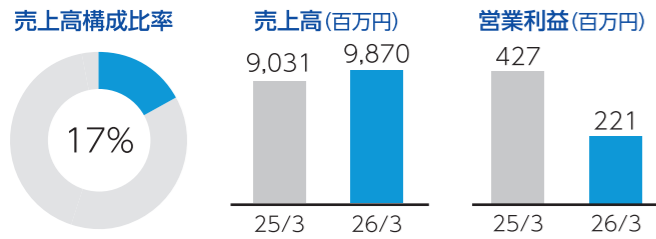
連結決算ハイライト



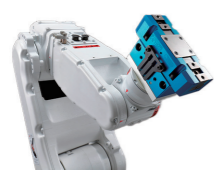
セグメント別の概況

キタガワ グローバル ハンド カンパニー (工作機器事業)

当カンパニーの売上高につきましては、国内市場は減少しましたが海外市場で中国やインドなどを中心にEMS（電子機器受託製造）関連の売上が増加し、9,870百万円（前期比9.3%増）となりました。一方、セグメント利益（営業利益）につきましては、国内市場の減収や海外市場における価格競争、工場移設に伴う一時的な費用の発生等により221百万円（前期比48.3%減）となりました。



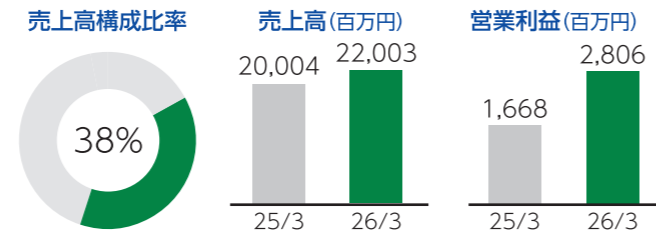
工作機器



産業ロボット用機器

キタガワ サン テック カンパニー (産業機械事業)

当カンパニーの売上高につきましては、コンクリートプラント事業のメンテナンス工事が好調に推移したこと、また、荷役機械事業においても大型クライミングクレーンおよびマストの売上が前期比で増加したため、22,003百万円（前期比10.0%増）となりました。セグメント利益（営業利益）につきましても、コンクリートプラント事業の売上増加および荷役機械事業の収益改善、自走式立体駐車場事業の収益の安定化により、2,806百万円（前期比68.2%増）となりました。



コンクリートプラント



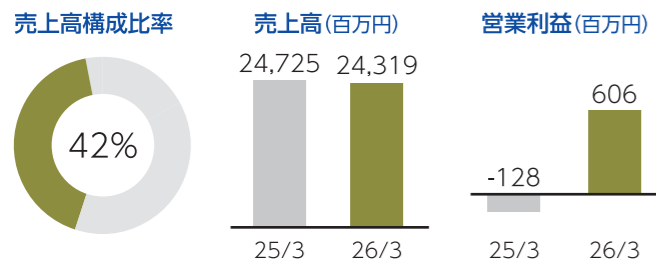
荷役機械



自走式立体駐車場

キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー (金属素形材事業)

当カンパニーの売上高につきましては、自動車エンジン部品の需要伸長により国内生産は堅調に推移しましたが、半導体不足による自動車メーカーの減産や鋳物部品の需要減少などの影響によりメキシコ子会社の生産量が減少したため、24,319百万円（前期比1.6%減）となりました。一方、セグメント利益（営業利益）につきましては、ライン稼働率の向上による固定費効率の改善、歩留まり改善や工程合理化等のコスト構造改革、間接業務の効率化に努めたことで、606百万円（前期セグメント損失（営業損失）128百万円）となりました。



建設機械部品

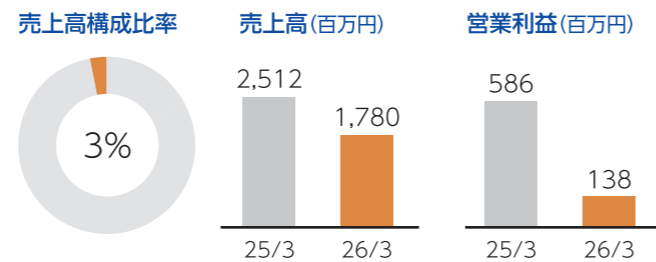


農業機械部品



半導体関連事業

当事業セグメントの売上高につきましては、連結子会社である北川グレストック株式会社において、AI関連需要に関する消耗品販売や受託加工が堅調に推移しましたが、前期でハードディスク製造装置の大型案件が完了した影響が大きく、1,780百万円（前期比29.1%減）となりました。また、セグメント利益（営業利益）につきましても、売上高減少の影響を受け、138百万円（前期比76.3%減）となりました。



ハードディスク研磨装置



半導体CMP装置

トピックス

個人投資家向けIR説明会を初開催

2025年11月および2026年3月に、個人投資家の皆様に向けたIR説明会を開催いたしました。オンライン参加も含め、延べ約200名の投資家の皆様にご参加いただき、当社の事業概要、中長期的な成長戦略、株主還元方針等についてご説明いたしました。質疑応答では、当社の独自優位性や株価水準について多くのご質問が寄せられ、直接対話を通じて当社の企業価値への理解を深めていただく貴重な機会となりました。今後も定期的な開催を継続し、株主・投資家の皆様との信頼関係の構築に努めてまいります。



コーポレートサイトをリニューアル

2026年4月、企業認知度の向上および企業ブランドの強化を目的に、コーポレートサイトをリニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、投資家の皆様がスムーズに情報へアクセスできるよう情報の整理および内容の充実を図りました。特に非財務情報の拡充に加え、財務状況を視覚的に把握できるよう、グラフを多用したデザインへと刷新いたしました。本サイトを通じて、投資家をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆様に対し、当社の企業価値をより正確に発信してまいります。



新広告動画 放映・配信開始

2026年4月、当社の魅力をより直感的にお伝えするため、プロモーション動画を新たに制作いたしました。コーポレートカラーであるブルーを基調に、スピード感と格好良さを両立させた演出で、当社のアイデンティティを象徴する仕上がりとなっております。現在、広島エリアを中心にテレビCMを放映しているほか、デジタルサイネージ広告も展開しております。広報・IR両面での発信力を強化し、さらなる企業認知度の拡大に注力してまいります。



キタガワチャンネル
(YouTube)



第10回ものづくり日本大賞 中国経済産業局長賞受賞

2026年3月、キタガワ サン テック カンパニーのコンクリート事業の「生コンクリートスラッジ水 高度利用システムの開発」技術が「第10回ものづくり日本大賞」製品・技術開発部門において、中国経済産業局長賞を受賞いたしました。本技術は、業界初の技術であり、2024年3月改正のJIS規格に採用されました。セメント製造におけるエネルギー使用量の削減に寄与し、脱炭素社会の実現に貢献する日本発の技術として、今後は海外展開も視野に入れ、持続可能な社会の構築に努めてまいります。



詳細はこちら
(当社HP)

